

TohoProjectFanBook

星空エートピア

satori reimu



R-18
ADULT ONLY

星空ユートピア



ずっと暗い所にいたから
眩しい物に触りたくなかったの

だって影は

光に触れたら消えてしまうもの



でも そんな私でも

暗い所でも自ら輝く星はとても綺麗だと

そう素直に思えたのよ

星空ユートピア



主人の為に
あんな所まで来るなんて
甲斐甲斐しい
ペットじゃない

ペットじゃないし
居候だし



あんなの所の
ペットと妹はどうしたのよ
入浴剤と一緒に
連れてきてくれたのは
素直にお礼するけど



お燐は死体狩りに
お空は山へ飛び立ち
こいしは...
分からないわ

ふーん



地霊殿の主が
ホイホイ外に出て
いいのかしらね



もちろん
良くないです

仕事も途中だし...
お茶だけ頂いたら
戻らないと

あ
そのドーナッツ
私が食べようと

それは失礼

紅茶とかに
した方がいいかしら

日本茶で
構いませんよ

—それで

あなたは

わざわざ
ここまで来て
何してるの

食。

…お前よくアレと
普通に会話してられるな

してないわよ
あつちが勝手に
喋ってるだけ

いや、うん
まあそれはそうなんだが
気持ち悪いじゃないか

あら？

魔理沙は
何かやましい
事でもあるの？

わっ

私は
別に…

えっ



お前は心読めない分
頼むからもう少し
空気を読めって！

ま
魔法沙そんな
ドーナツツ
好きだったっけ？

ホラ見ろ
私が可哀想な事になるたる
ハイハイ分かつてます
分かつてますよ霊夢さん
お願いしますね！



好きなんだよ
ねー？



いいかいしし...
無意識で済んだら
閻魔様は
いらないんだぜ

ごめんで
済んだら
泥棒しても
いいの？

それは
借りてる
だけだから
問題ないぜ



ふふー
妹に聞いたわよ
あんたの所
地下酒造
あるんだって？

ワインかしら
日本酒かしら

はあ...

一応両方
ありますけど



はい

うちも日本酒なら
あるんだけどさあ



葡萄は管理が
出来なくて

ね

悪魔城に行くのも
めんどろだし
試飲の際は
誘ってくれたら
嬉しいんだけど？

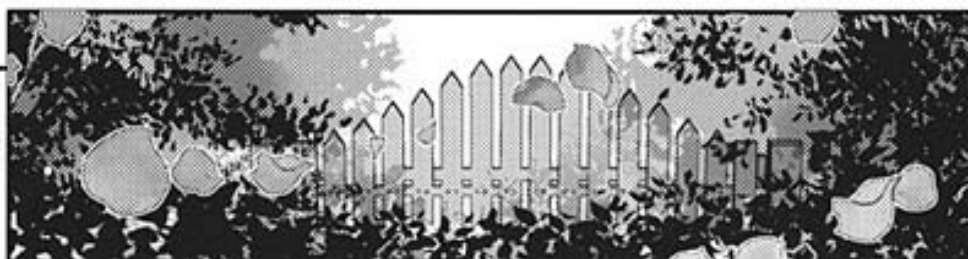


ついでに
この大量の輪っかを
消費してくれたら
ありがたい



…こういうのは…
慣れてないわね…

…頂くわ



っはー
葡萄酒作る所って
薔薇園ないといけないの？

それに付けて
お姫様ベッドね
さすが当主

個人の
趣味です



やっぱうちも
ワイン
作ろうかしら
…儲けの為なら
教えませんよ



そういえば
妹は？

どこ行ったか
分からないわ
何かしたいのか
まだ地上に
いるみたいだけど



申伝
読んでません



心読めるのに
分からないって？

…あの子の心は
もう読めないから…



それでも
卑怯なものね

私は心が読めない
唯一のあの子に
安堵を感じるのよ



…私が閉ざしてしまったのです



忌み嫌われ
追いやられる
苦しみ…

愛され囲まれる
地上の貴女には

分らないで
しようけども

これ以上
関わらないで
下さいませんか

汚らわしい

私達に害を及ぼす
妖怪を退治すると
ぬかしておきながら



ほ



妖怪とつるんでる
巫女なんてー

霊夢？



気のせい
でしょう

むしろお
おに
見られた
く
ないもの
を
見られた
気がする



!?

取り敢えず
飲みまくって
忘れちゃえば
いいんじゃない
かしら！



ふうん
そう

それなら
いいんだけど



わわわひやし
あんまりこういうの
飲み慣れてなくへ

酒は飲んでも
呑まれるなく
つてねえ！





こんなに

眩しくて
しようがないのに

眩しくて

地下を
守る者と

地上を
守る者が

一つになったら……



ズッ

あー
あんた
絡み酒?



…最強だと
思わない?

キッ

ハッ



さつき読んだあなたの…
その…行為というか…
…を再現してみたいと…

やつば
読んでたんじゃない

つかこの生々物
意識あるの？



ちょっと
何のつもりよ
さとり



思考よりもっと
奥の所に
同期してみたわ



ごめんなさい
私が楽しそうに
してるものだから
うちの
ベットが



あなたはどういう風に
乱れるの…?

ねえ教えて雲夢

相手と私の
中身が全部
見られてるみたい

やだなにこの感じ
気持ちいいのに
すごく切なくて…



依代って
巫女の得意技でねえ

同調の真似事するだけなら
私にも出来るのよ



ただ心だけは
読めないし

どんな
無茶しても
分からないから

それって
どういうい...



あんたが普段から
これで楽しんでても
どこがいいかまでは
分からないわ

そ、そんな事
いつもしてな...っ

まあ感覚が一緒なら
入れても
入れなくても
関係ないか



残念

今入ったのは
私の方



おああ



しまった
これじゃ

ダイレクトに
受ける分
私の方が強く
共鳴しちゃう

…ちやんと…っ
受け止めなさいよ



つひやあ
ふあア…!

じゅわ
じゅわ
じゅわ



つあああつ

だおく
だめええ



…霊夢…?

はっ

はる

はる



あ……
また…イツ…

はっ

…き

あああ

きんきん

飛っ…

…れつ
霊夢っ？

れ

は

は

かく

やだっ
これ止めて

霊夢
起きて
一人にしないで

後ろなんて
そんなところ

入っちゃ…っ

二人分の心が交差するだけで
こんなに違うなんて

こんなの今まで
知らなかったのに



あ
あ
あ
それどころか

人の温もりが
こんなに暖かいものだった事すら

……んっ



……まさか



ふふー！
妹に聞いたわよ



でもおかしいわ……
いくら酒の力でも
こんな……



お姉ちゃんはお
ま



ああもう
まだやんのかよ



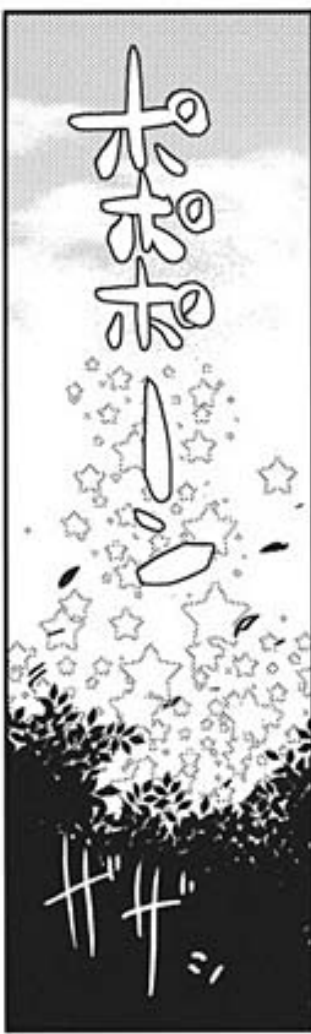
考えすぎるから
私に勝てないんだよわっ

うっ



はーっ
やっぱり
あなたベツトに
欲しいわあ

頼むから
あの姉貴にだけは
頼まないで欲しいぜ
へんえまのコレ



ホホホ

ザザ



頼まないよ

これは
私が
見つけたの

お姉ちゃんは「怖い」のよね

私自身が消えて行くんじゃないかって

だからお姉ちゃんは自分が欲しいものより私の欲しい物ばかり探そうとするの

少しでも私の意識に干渉させたくて



お前は怖いのか？

…実はこれが閉じてからはあまり感じないの

怖くないと思うよ

でもそのおかげで私は大好きなお姉ちゃんの唯一の場所になれた

ロボットに
なった訳じゃないもの

やりたい事は
あるわ

お姉ちゃんが
喜ぶこと

私がしたいと
思うこと

面倒だなあ

前は一発で
分かったんだろ？

そうなのよ
面倒なのよ

でも私達二人の夢だけは
ずっと覚えてるわ

地下にいた頃は
星が見たくて
毎日色んな本を読んでた

ああ
しかし本物は
夜にならないと
見れないだろ

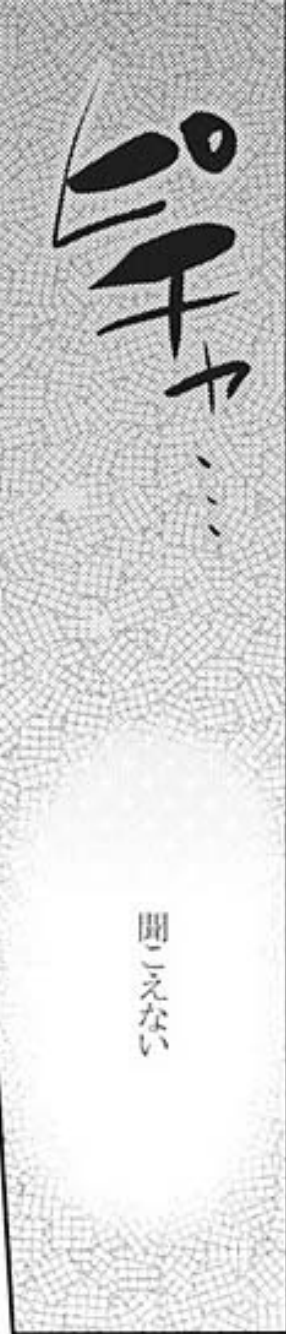
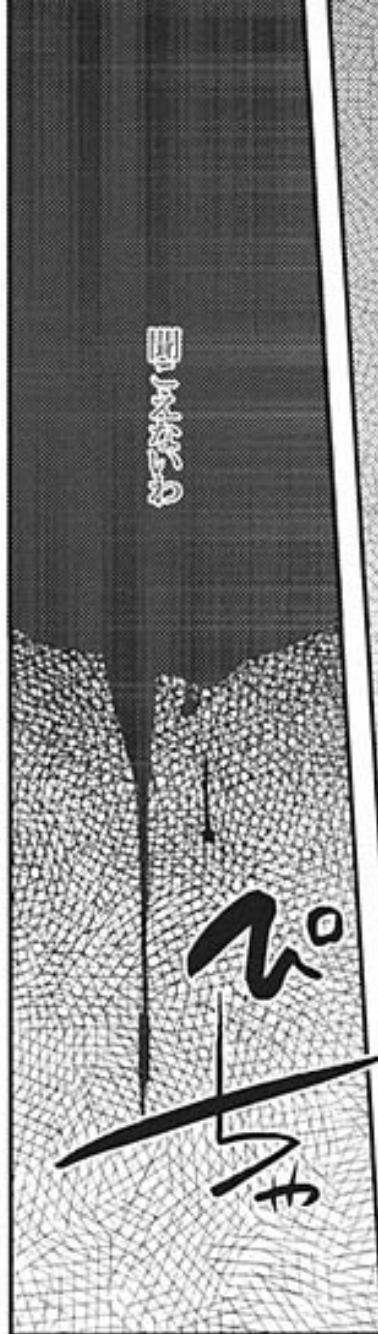
星なら
私に任せとけよ
何なら今

私の星は
もう見れたよ

ううん
いいの

ねえ
お姉ちゃん
聞こえる？







まじか

何で私まで…

いいからいいから

はい地霊殿ご一行様入浴

私達うけどね

はあ？

こいし

何なよ一体

オープンドア

さとり様先頂いてます

うにゆ

ガラッ

え……

これかもしがして

魔理沙のやつこいうの作るの得意なのよ

湯船が…
星空
みたいに





トラウマになつてるのは私の方ね

ふふ



これじゃあ…

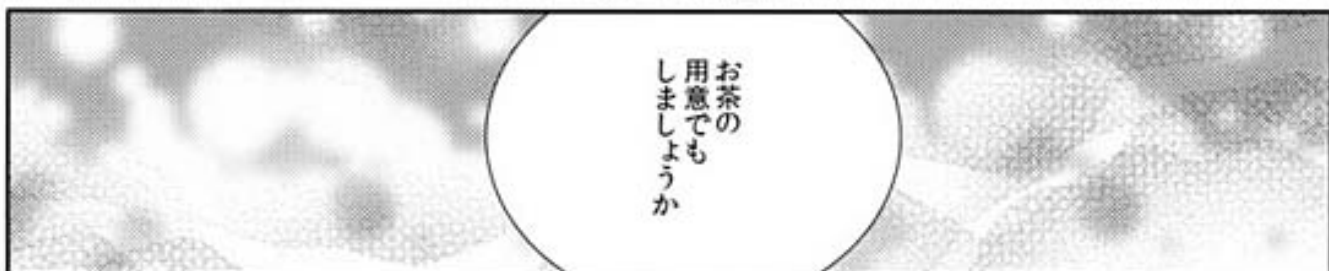


なんか飲み物でもくれないかしら



なんなら日本酒でもいいのよお

はい



お茶の用意でもしましょうか



何これ

天地合の儀式完了!?!
霊夢さんの大胆さにびっくりしたと語る地下の主

ロケ外

空なら私に決まってるでしょ

霊夢さん大丈夫です
まだ空が! 空が残ってます!

おしまい

おいもと

